

# 舗装の個別施設計画



令和5年3月

名 取 市



宮 城 県 名 取 市

## 目 次

### 1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

### 2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度
- 2.5 使用目標年数（分類Bの道路）

### 3. 計画期間

- 3.1 計画期間
- 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

### 4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

### 5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

# 1. 舗装の現状と課題

## 1.1 管理道路の現状

管理延長および舗装延長を以下の表に示す。

区分	種別	総延長(km)	実延長(km)
道路	1級市道	58.829	55.868
	2級市道	33.850	33.571
	その他市道	416.470	396.796
	合計	509.149	486.235

## 1.2 舗装修繕予算の現状

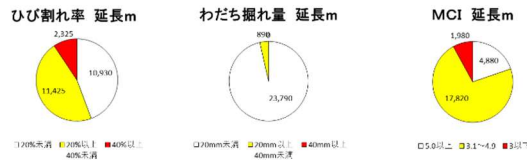
道路予算のうち舗装修繕予算は、平成30年度から令和4年度の過去5年間平均で約22,600万円(年間あたり)となっている。

## 1.3 舗装の現状

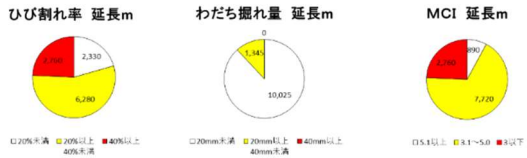
平成26年度、平成30年度、令和2年度、令和4年度の路面性状調査結果を整理し、舗装の現状と破損の要因を把握した。

総合的な維持管理指数であるMCIを鑑みると、本計画対象路線における破損状況は、わだち掘れによる影響が少なく、ひび割れによる影響が大きいことが想定される。

### 平成26年度 路面性状調査結果



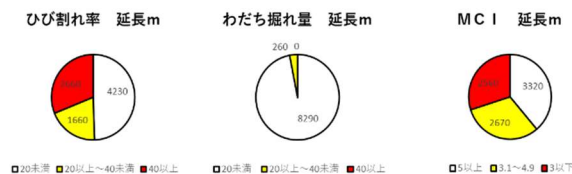
### 平成30年度 路面性状調査結果



### 令和2年度 路面性状調査結果



### 令和4年度 路面性状調査結果



## 2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

### 2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっての基本方針を以下に示す。

- ・過年度の路面性状調査結果と既存資料を活用し計画を策定する。
- ・効率的かつ効果的な維持管理のため、補修箇所および補修工法を適切に計画する。
- ・路線の優先度を設定し、長寿命化を意識した補修工法を設計し実施する。

### 2.2 管理道路の分類（グループ分け）

分類	対象道路
分類Bの道路	MC I 4 以下の路線あるいは箇所及び住民要望の寄せられている路線 緊急輸送道路あるいはバス路線等の重要とされる路線
分類Cの道路	分類BおよびDを除く路線全て
分類Dの道路	砂利道 未舗装

### 2.3 管理基準

#### (1) 管理基準

管理基準は、MCI とする。

区分	MCI	分類B, C
Ⅲ	3.0以下	・打換え ・路上路盤再生 ・切削オーバーレイ 等
	3.1～4.0	・切削オーバーレイ ・薄層舗装 等
Ⅱ	4.1～4.9	シーリング材注入
Ⅰ	5.0以上	日常管理

## (2) 詳細調査・措置

詳細調査結果に基づき、措置方法を判定する。

分類 B	大型交通	一般区間	大型車の交通による破損が懸念される区間 <sup>※</sup>
	構造調査結果		
Ⅲ-1	基準を満たす場合	表層等修繕 (クラックシール、じよく層舗装等の リフレクションクラック対策を考慮した切削オーバーレイ等)	一般区間での補修工法に加え、 改質アスファルトの使用等の耐流動対策を実施
Ⅲ-2	基準以下の場合	路盤打換え等 (打換え工法、路上路盤再生工法等)	

※大型車の交通による破損が懸念される区間：大型車交通量がN5以上の路線、もしくは工業地帯やバス路線等の大型車の交通が懸念される路線

## 2.4 点検方法・点検頻度

項目	点検方法	点検頻度
分類Bの道路	路面性状調査（測定車）	5年に1度程度
分類Cの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握または 路面性状調査（測定車）	巡視により路面性状測定車による 調査が必要と判断された場合
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	
修繕区間	措置方法の選定を目的とした詳細調査 (舗装構造調査)	点検（路面性状調査）結果に応じて実施

## 2.5 使用目標年数（分類Bの道路）

過去の調査結果や既存資料等を踏まえ、分類Bの道路は21年とする。

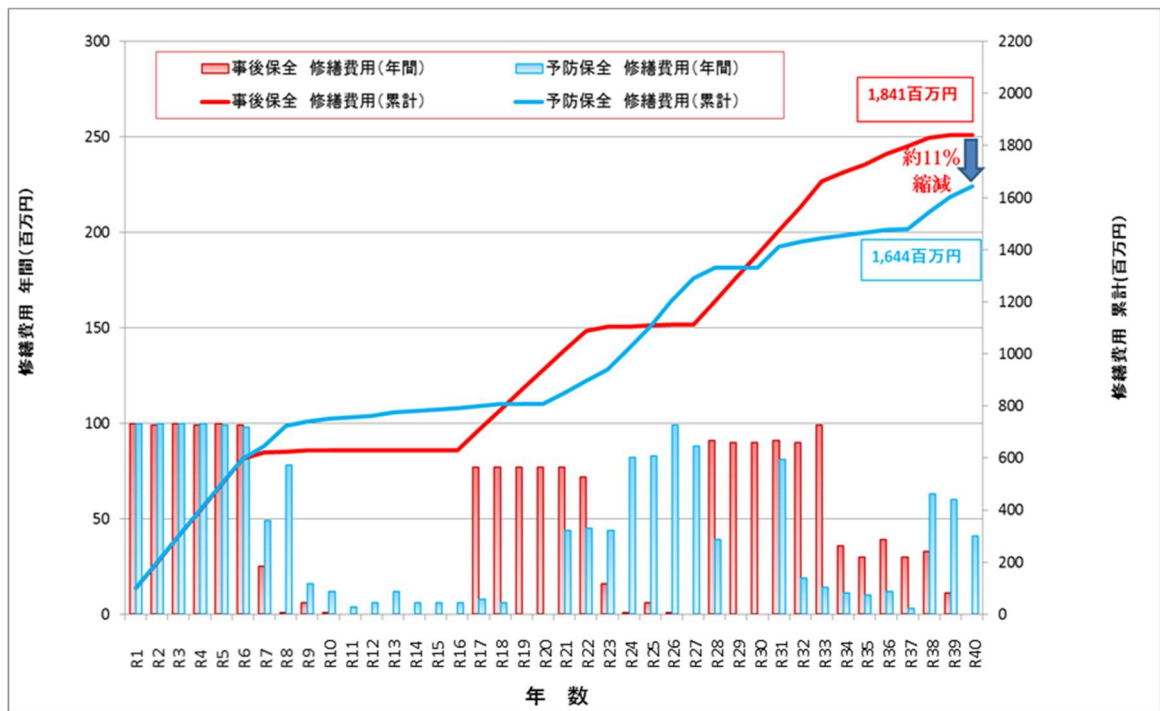
### 3. 計画期間

#### 3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、5年程度とする。

#### 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

これまでの点検結果を基に、40年間の修繕費をシミュレーションした結果、従来の方  
法で行う場合と診断結果に基づく計画的な修繕（予防保全）を行う場合で約11%（197  
百万円）縮減可能。



### 4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

## 5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

### 5.1 診断結果

平成 26 年度・平成 30 年度・令和 2 年度、令和 4 年度に点検した 46.2km の診断結果は以下のとおりである。

( k m )

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ		
				Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Bの道路	9.1	15.6	21.5	16.8	4.7

### 5.2 対策内容と実施時期

補修の優先順位は、平成 26 年度・平成 30 年度・令和 2 年度・令和 4 年度に実施した路面性状調査結果及び、現在の沿道状況、住民要望や交通量等を勘案して決定した。最優先で補修が必要な箇所の対策内容と対策時期は別表のとおりである。

補修実施にあたっては、舗装点検要領に記されているように、措置に該当する区間のうち必要箇所を抽出し、詳細調査（FWD調査、舗装構成調査等）を実施した上で補修断面の検討を行う。補修断面の検討は、詳細調査の結果に基づき構造設計を行い、設計条件および必要等値換算厚、経済性を考慮し決定する。

尚、次頁別表に示されている補修に必要な箇所の対策内容と対策時期については、個別施設計画の更新時や今後の財政状況などで見直しを行う。

措置が必要な箇所一覧

番号	分類	路線名	補修延長 m	点検 実施時期	診断結果	措置内容	措置 予定実施時期
6040	B	塩手後野田線	180	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R1年度
7045	B	西小元中田線	875	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R1, R2年度
7004	B	南部道路北線	840	平成30年	Ⅲ	オーバーレイ工法	R1, R2年度
9028	B	ゆりが丘三丁目1号線	550	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R1, R3年度
9014	B	ゆりが丘二丁目1号線	698	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R1～R3年度
11018	B	みどり台二丁目6号線	386	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R2, R3年度
7001	B	中沢今成線	1275	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R1～R3年度
6016	B	笠島中道線	970	平成30年	Ⅲ	オーバーレイ工法	R2, R3年度
1233	B	大手町二丁目7号線	170	平成30年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R3年度
12001	B	愛島西部線	2194	平成30年	Ⅲ	路上路盤再生工法	R2～R4年度
4062	B	本郷札前線	1152	平成30年	Ⅲ	路上路盤再生工法	R3年度
6039	B	野田線	474	平成30年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R3年度
1113	B	浜街道線	1,070	令和2年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R3、R5年度
1090	B	植松田高線	330	令和2年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R3年度
6003	B	袖山線	806	令和2年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R3年度
1168	B	関の下前線	120	令和4年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R5年度
6045	B	上平西六軒線		令和4年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R6年度
15004	B	杜せきのした駅前線(歩道)	1箇所	令和4年	Ⅲ	歩道補修(平板ブロック修繕)	R5年度
15002	B	杜せきのした北線(歩道)	3箇所	令和4年	Ⅲ	歩道補修(平板ブロック修繕)	R6年度
15003	B	杜せきのした西線(歩道)	3箇所	令和4年	Ⅲ	歩道補修(平板ブロック修繕)	R7年度
1105	B	名取駅西線(歩道)	500	令和4年	Ⅲ	表層打ち換え工法	R7年度
15001	B	杜せきのした中央線(歩道)	2箇所	令和4年	Ⅲ	歩道補修(平板ブロック修繕)	R8年度
16001	B	下増田関下線(歩道)	1箇所	令和4年	Ⅲ	歩道補修(平板ブロック修繕)	R8年度
1171	B	市役所通り線(歩道)	725	令和4年	Ⅲ	表層打ち換え工法(歩道)	R8年度
5072	B	相野釜愛島線		令和4年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R11年度以降
5001	B	箱塚谷津山線		令和4年	Ⅲ	切削オーバーレイ工法	R11年度以降
6019	B	宮下宮脇線	200	-	-	表層打ち換え工法	R4年度
4007	B	本郷堀内線	870	-	-	切削オーバーレイ工法	R4年度
7057	B	熊野堂柳生線	2,660	-	-	切削オーバーレイ工法	R4～R6年度
1209	B	増田小学校北線(歩道)	120	-	-	歩道補修(水路蓋掛替)	R4年度
7006	B	三日町熊野堂線	1,250	-	-	切削オーバーレイ工法	R5年度
10001	B	相互台線	1,320	-	-	切削オーバーレイ工法	R5年度
1025	B	増田野田線	720	-	-	切削オーバーレイ工法	R5年度
7068	B	名取川堤防線	1,300	-	-	オーバーレイ工法	R6年度
4093	B	本郷六軒線	350	-	-	表層打ち換え工法	R6年度
4039	B	土城堀線	145	-	-	切削オーバーレイ工法	R6年度
6046	B	上平宮脇線	430	-	-	切削オーバーレイ工法	R6年度
4013	B	本郷原線	370	-	-	表層打ち換え工法	R6年度
6008	B	上平蔵神線	450	-	-	表層打ち換え工法	R6年度
6042	B	塩手中道線	920	-	-	切削オーバーレイ工法	R6年度
6018	B	潜穴線	80	-	-	切削オーバーレイ工法	R6年度
2085	B	小塚原中央線(歩道・側溝)	610	-	-	歩道舗装	R7年度
1171	B	市役所通り線	725	-	-	切削オーバーレイ工法	R7年度
4008	B	堀内大洞線	500	-	-	切削オーバーレイ工法	R7年度
8002	B	那智が丘線	950	-	-	切削オーバーレイ工法	R7年度
1030	B	志村線	160	-	-	切削オーバーレイ工法	R7年度
1278	B	増田一丁目8号線	289	-	-	切削オーバーレイ工法	R7年度